

東中筋中学校第2学年 道徳学習指導案

平成28年12月7日(水)

授業者(中山 文)

1 主題名 家族の深い愛 C(14) 家族愛

2 ねらいと教材

(1) ねらい

母親と娘の思いを考えることや自分たちの親の思いを考えることを通して、かけがえのない子どもとして深い愛情をもって育てられたことを感じ取り、家族の一員としての自覚をもって生きていこうとする道徳的心情を育てる。

(2) 教材名

コラム『誰かのために』 (私たちの道徳 中学校 文部科学省)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

家族は、親子及び兄弟姉妹という関係により一般的に成り立ち、その一人一人が誰かと取り替えることができないかけがえのない価値を有する存在である。祖父母や父母が在ること、そして自分は、そのかけがえのない子供として深い愛情をもって育てられていることに気付かせることが大切である。そのことを通して、自分の成長を願い無私の愛情をもって育ててくれた父母や祖父母に対して敬愛の気持ちを深めることが必要である。子供の立場から家族を見つめ、家族の一員としてお互いを思いやりながら家庭生活を送ろうとする心情を育てることが大切である。

(2) 児童生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

昨年に比べ、家族の一員としての自覚が芽生え、家事を手伝ったり、家族との関係をよりよく築いていこうする態度が見られているが、日々感謝の思いでという態度は素直になかなか表せないのが現状である。また、思春期真っ只中の反抗期の時期とも重なり、素直な態度で接することに照れも見られる。

そんな中、防災学習で学んだことを家族を相手に実践することや、道徳参観日で保護者と一緒に授業を行うことで家族との関係を振り返る機会がもてた。

自我意識が強まりつつある中で、自分のことだけでなく、家族の一員として家族の立場や思いを考えられるよう指導していきたい。

(3) 使用する教材の特徴や取り上げた意図及び具体的な活用方法

本教材は、鎌田實氏が最期を看取った患者とその家族との関わりを通して、自分の成長を願い、無私の愛情をもって育ててくれた父母や祖父母に対して敬愛の念を深めることができる教材である。余命3カ月と知りつつも子供の卒業を見届けたいという母親の姿、その思いをしっかりと受け止めている子供の姿をおさえたい。教材の母親のすごさを感じるだけで終わらず、終末には、生徒達自身の親からの思いを受け取ることで、自分は家族の一員としてどうあるべきかを考えさせたい。

4 本時で期待する生徒の姿

〔授業前の生徒の考え方〕

- ・親にしてもらって当たり前。
- ・言われれば手伝う。

→ 〔授業を通して高めたい生徒の考え方〕

- ・親にあまり負担をかけずに、家族の一員として自分もできることをしていこう。

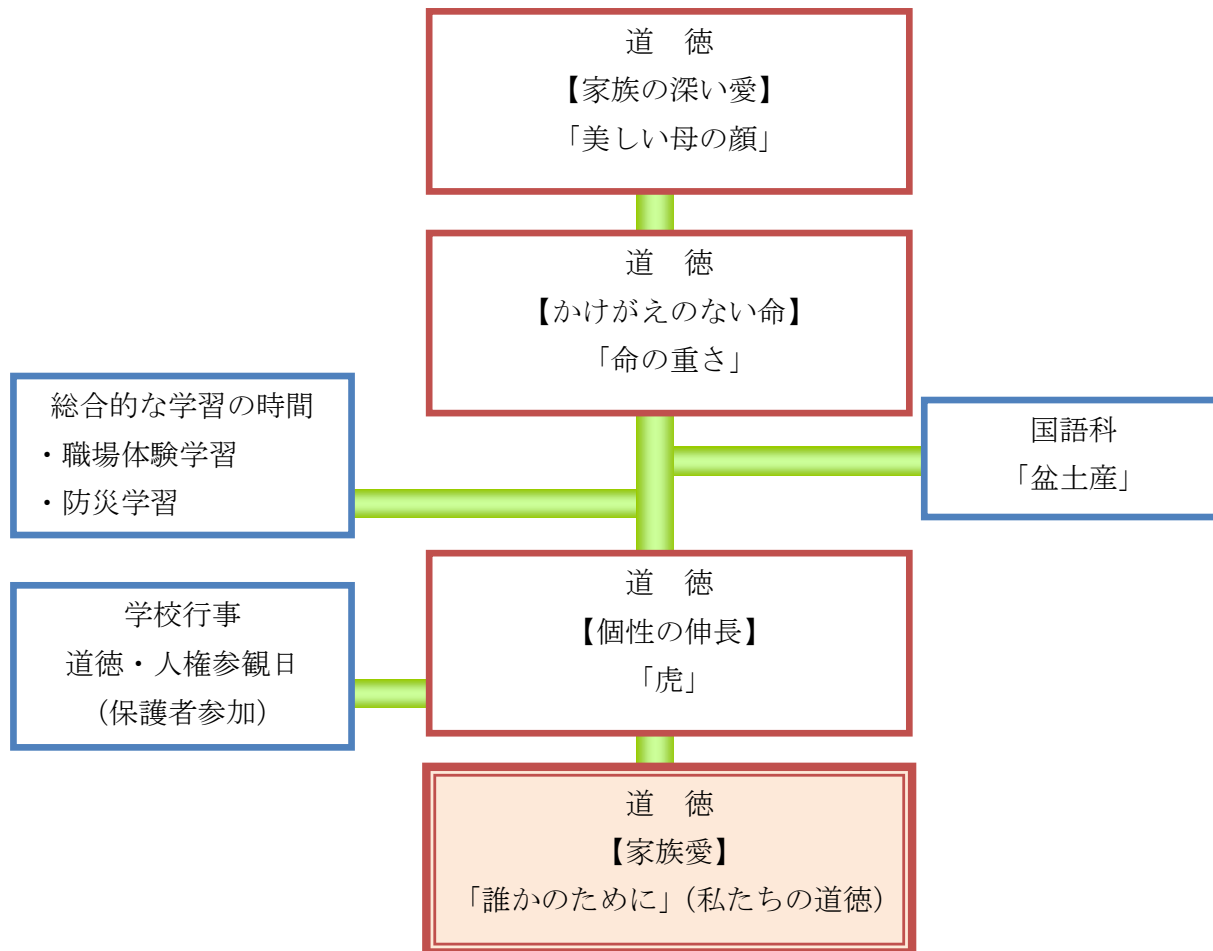
5 準備物 ワークシート メッセージ

6 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される児童生徒の反応	指導上の留意点
導入	1. 家族について考える。	○家族のことを大事にしていますか。どんな時ですか。 ・仕事で忙しい時にご飯を炊いておく ・具合が悪い時に面倒をみる	・導入なのであまり時間を取らない。
展開	2. 教材を読む。 3. 母親の思いについて考える。	○余命3ヶ月と診断された母親がそれ以上長生きできたとあるが、母親にとって子どもの卒業式とはどんな意味をもっているだろうか。 ・子どもの節目に自分も出たい。 ・生きる目標 ・成長を見届けたい ◎帰る度、どんな思いで娘にお弁当を作っていただろうか。 ・長くは生きられないなら、せめてお弁当ぐらいは作ってやりたい。 ・娘のお弁当作りが生きがい。 ・今できる精一杯の愛情をこめられるもの。 ・母なりに一生懸命生きている姿を見せたい。 ・作れるうちに作りたい	・子への母の強い思いが、生きようとする力につながったことを押さえる。 ・通常では、立っていることもできない状態にもかかわらず、娘にお弁当を作る母親の強い愛情を考えさせる。
	4. 娘さんの思いについて考える。	○久しぶりのお弁当をなかなか手に取ることができなかった。この時、娘さんは、どのような思いでお弁当を見つめていたのでしょうか。 ・しんどいのに、私のためにありがとう。 ・いつまでもずっといてほしい。 ・病気がよくなってほしい。 ・お母さんの最後のお弁当かもしれない。 ・ここまでしてくれる母に感謝の思い。	・母の余命は知っていたであろう。それにもかかわらず、お弁当を準備してくれたことに感じた深い愛情をじっくり考えさせたい。
	5. 自分の親たちからのメッセージを知る。	○みんなのお家からもあなた方にメッセージをいただいています。読んでみてください。どんなことを感じましたか。	・それぞれ、自分の家庭からのメッセージを1番最初にし、5分間読ます。
終末	6. これからの自分を考える。	○お家の人たちの思いを知った今、家族の一員としてのこれからの自分を考えてみましょう。	・ワークシートに記入したものを発表させ、共有する。

【評価】 ※家族の一員として自分のあり方について考えることができたか。（記述内容）

7 他の教育活動との関連



8 板書計画

